



## 第2章 子どもと子育て家庭を 取り巻く現状



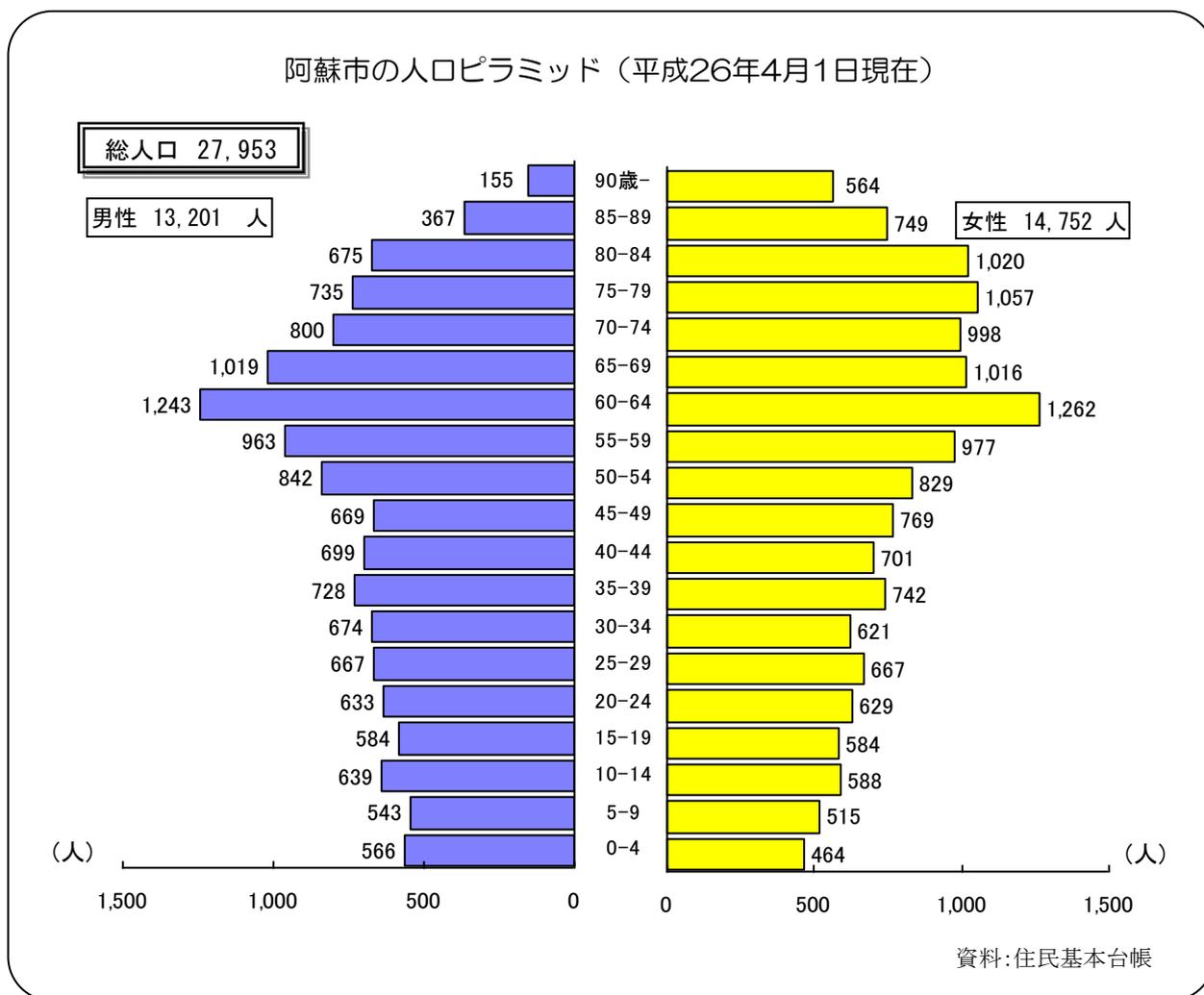
## 1. 人口等の動向

### (1) 人口の推移

#### ① 総人口

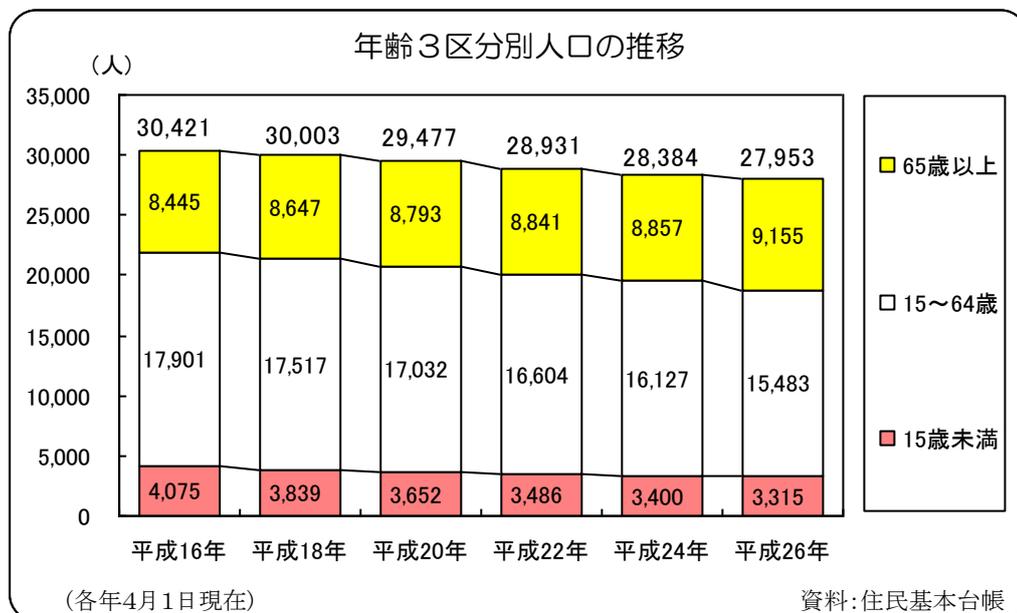
本市の平成26年4月1日現在の総人口は、男性13,201人、女性14,752人の計27,953人です。60代前半の人口が最も多く、35歳未満の若い世代の人口が少なくなっていることがわかります。

現在の30代後半に比べ、これから結婚適齢期を迎える20代前半の人口が少ないことから、今後さらに少子化が進むことが懸念されます。



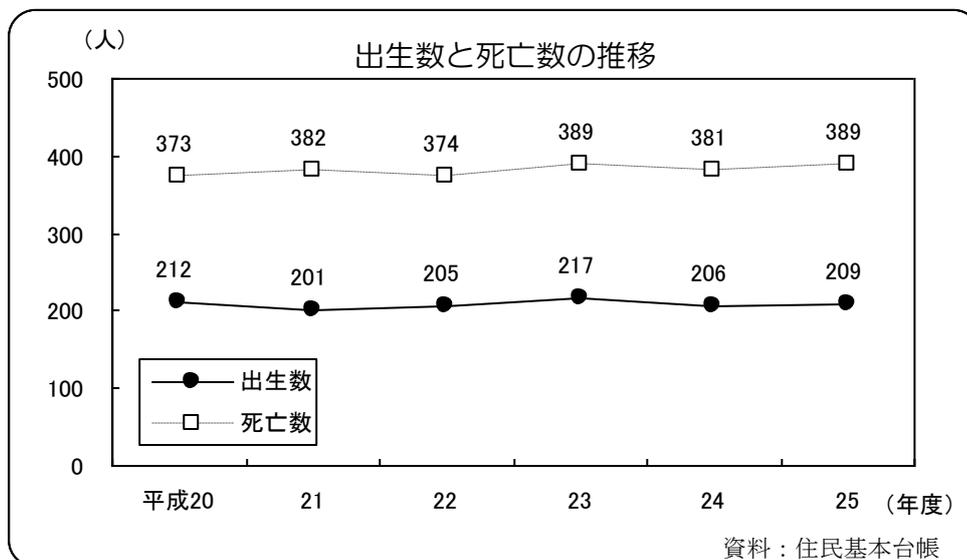
②年齢3区分別人口の推移

人口の推移を見ると、全体の人口は減少傾向にあります。年齢3区分別にみると、年少人口（15歳未満）は減少し続け、高齢者人口（65歳以上）は増加傾向にあることから、少子高齢化が確実に進んでいる状況がうかがえます。



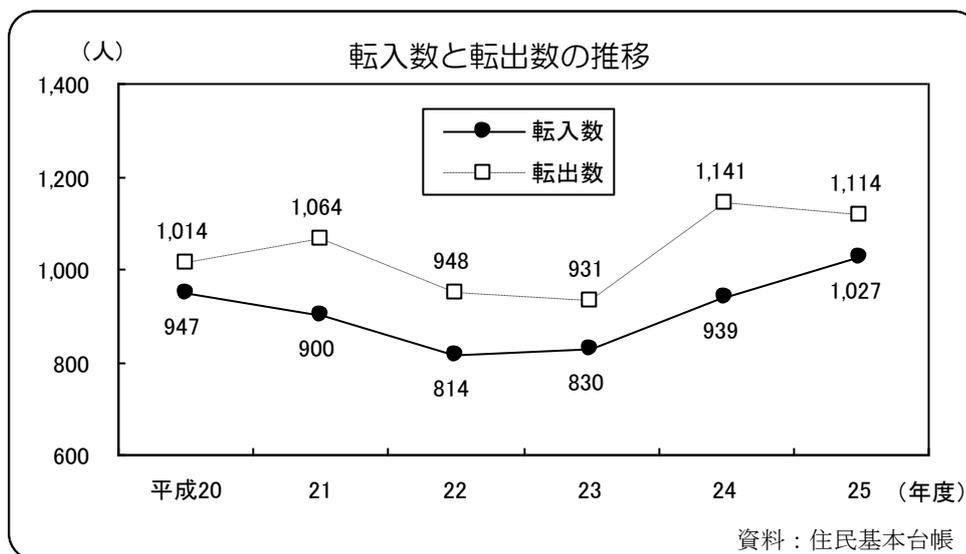
③自然動態—出生数と死亡数の推移—

出生数、死亡数ともに横ばい傾向にあり、死亡数が出生数を上回る自然減の状態が続いています。平成25年度は、出生数209人に対し死亡数389人で、180人の自然減となっています。



④社会動態—転入数と転出数の推移—

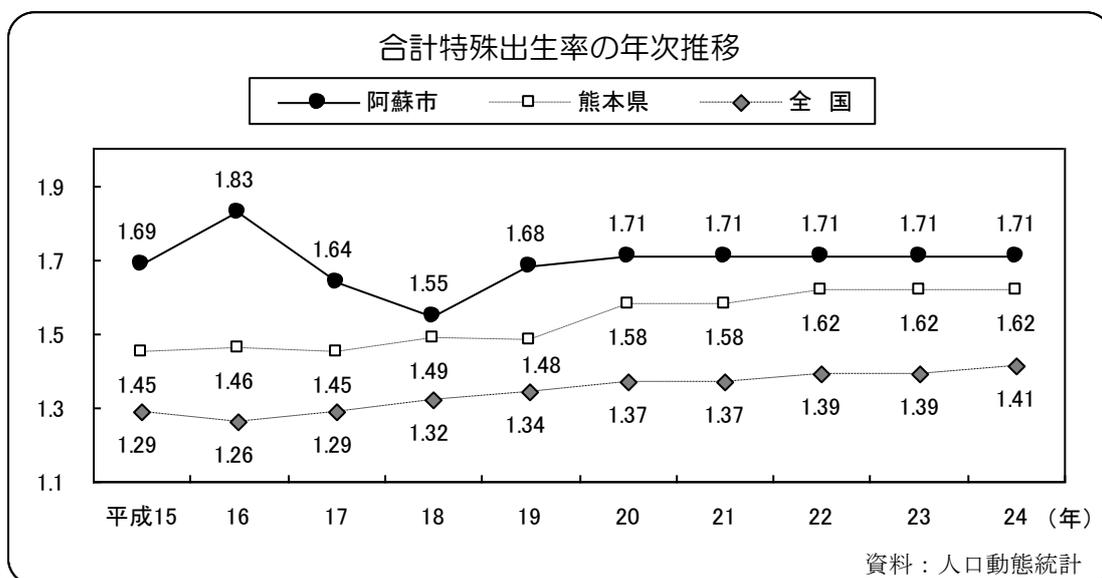
転入数、転出数ともに年度によってばらつきはありますが、転出数が転入数を上回る社会減の状態が続いています。平成 25 年度は転入数 1,027 人に対し転出数 1,114 人と、87 人の社会減となっています。



⑤合計特殊出生率\*の推移

平成 15 年から平成 24 年にかけての合計特殊出生率の推移は下図のとおりで、国や県よりやや高い値で推移しています。しかし、人口の維持に必要な合計特殊出生率が 2.08 程度とされていることを考えると、本市においてもなお深刻な少子化状況が続いていることに変わりはありません。

※合計特殊出生率：15 歳から 49 歳までの女性の年齢別出生率を合計したもので、1 人の女性が一生の間に生む平均子ども数に相当するとされる。

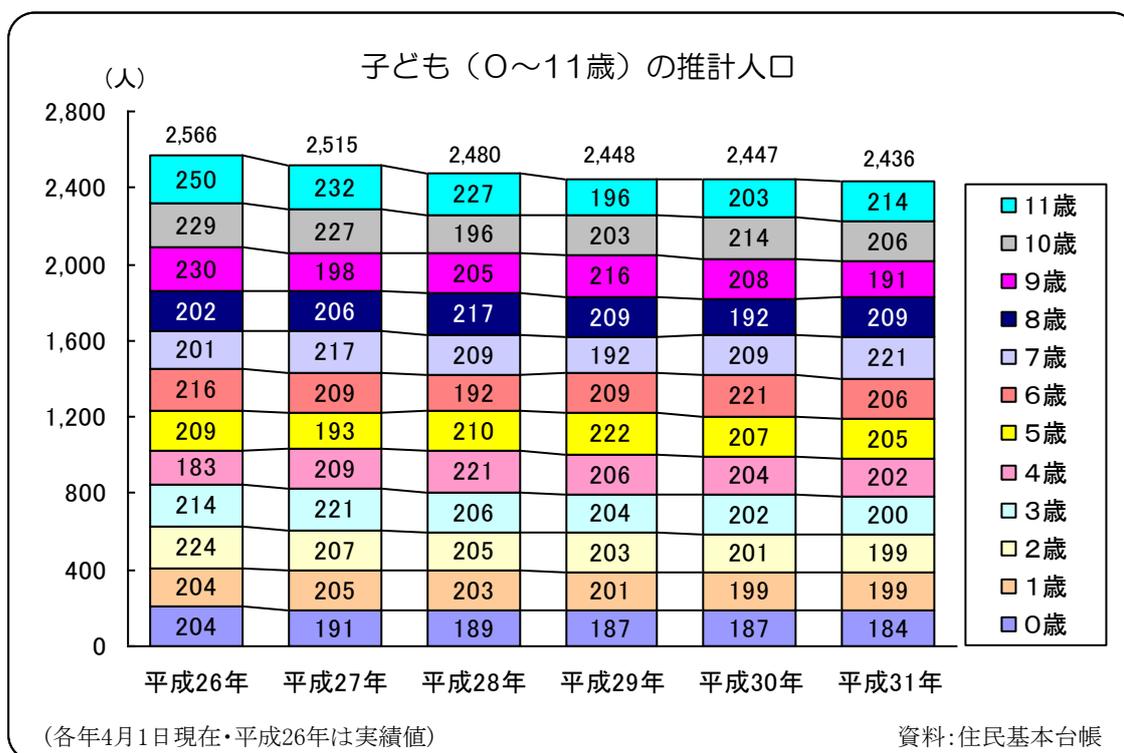


⑥子ども（0～11歳）の推計人口

平成21～25年の住民基本台帳人口を基にコーホート変化率法※を用いて子どもの人口推計を行った結果は以下のとおりで、計画期間を通して少しずつ減少していく見込みです。

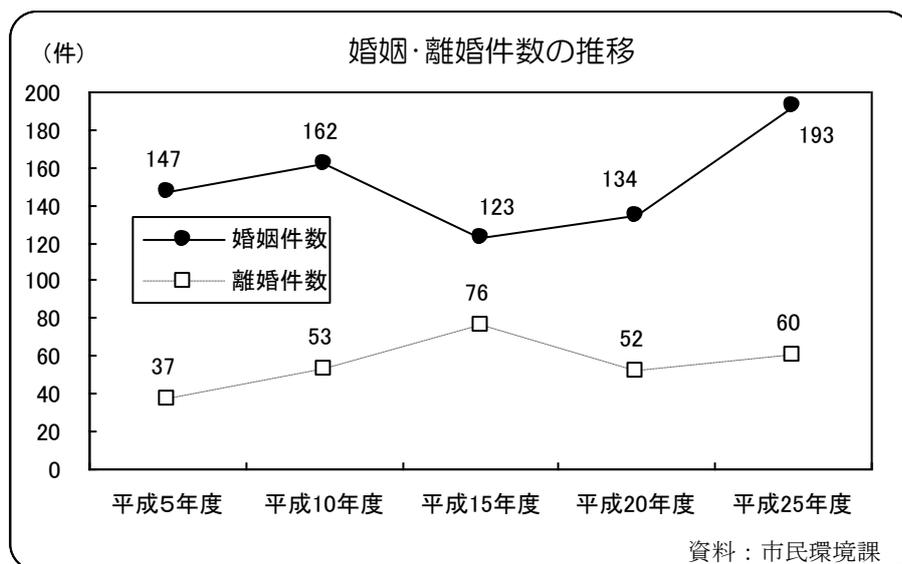
※「コーホート変化率法」

ここでいう「コーホート」とは、同じ年（または同じ期間）に生まれた人々の集団のことを指し、「コーホート変化率法」とは、各コーホートについて、過去における実績人口の動勢から「変化率」を求め、それに基づき将来人口を推計する方法である。



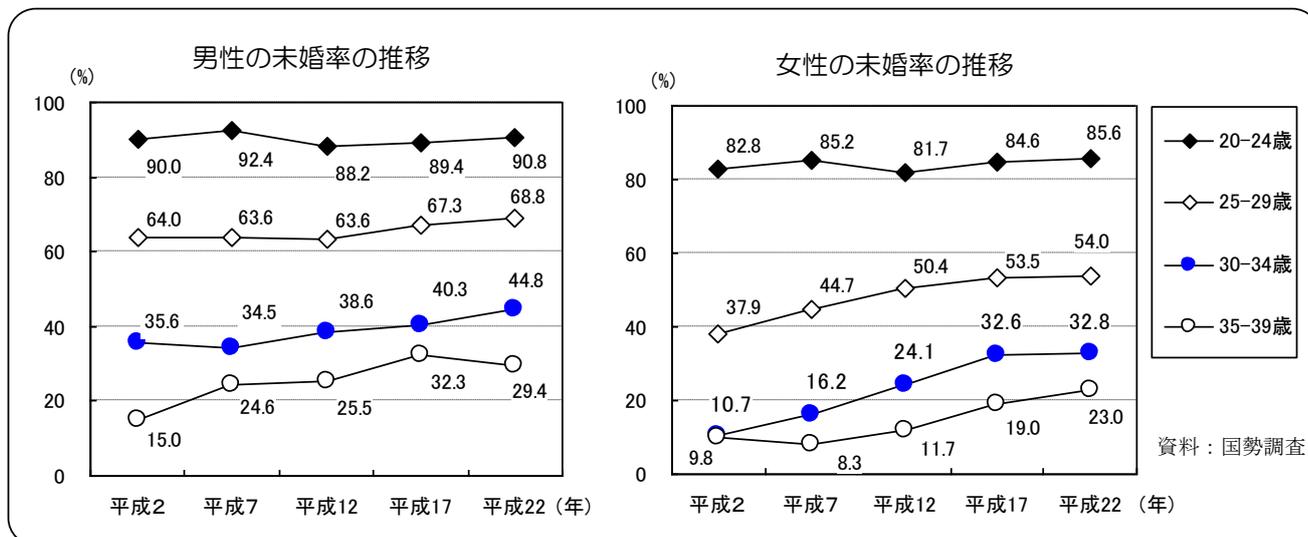
### (2) 婚姻・離婚件数の推移

婚姻件数は、10年ほど前の水準と比べると増加しており、平成25年度は193件となっています。これに対し、離婚件数は、10年ほど前までは増加傾向にあり、平成15年度は76件となっていました。その後やや減少に転じ、平成25年度は60件となっています。



### (3) 未婚率の推移

20～39歳の男女の未婚率の推移を5歳階層別にみると、20代前半を除くほとんどの階層で未婚率が上昇していることがわかります。特に、女性は30代後半の未婚率の上昇傾向が続いていることから、晩婚化のみならず非婚化の傾向が進んでいることがうかがえます。



(4) 世帯数の推移

平成7年からの15年間の世帯数の推移は以下のとおりで、総世帯数は平成7年以降、一貫して増加傾向にあります。また、単身世帯や核家族家庭の増加等により、1世帯あたりの人数は減少傾向にあります。

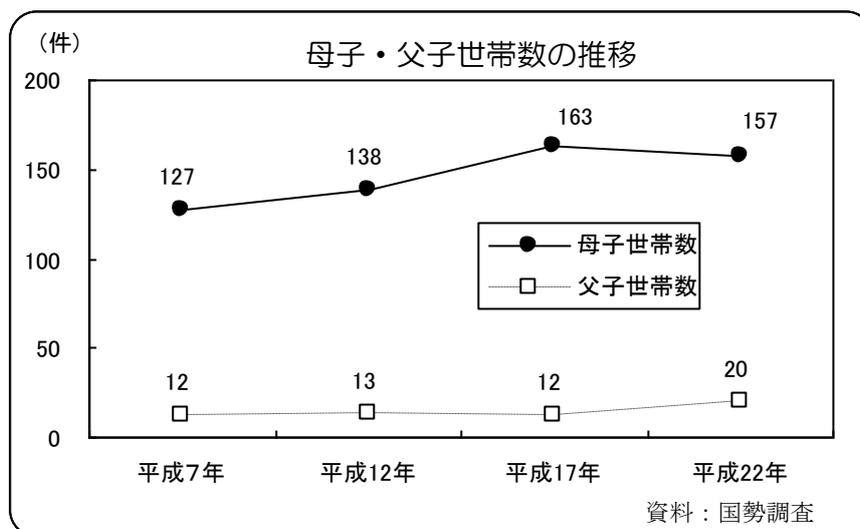
母子世帯数は平成17年までは増加傾向にありましたが、平成22年はやや減少しています。一方、父子世帯数は平成7年以降、横ばい傾向にありましたが、平成22年はやや増加しています。

世帯数の推移 (単位:世帯)

	平成7年	平成12年	平成17年	平成22年
総世帯数	9,522	9,734	9,952	10,100
母子世帯数	127	138	163	157
父子世帯数	12	13	12	20
1世帯あたりの人数(人)	3.29	3.13	2.98	2.82

※各年10月1日現在

資料:国勢調査

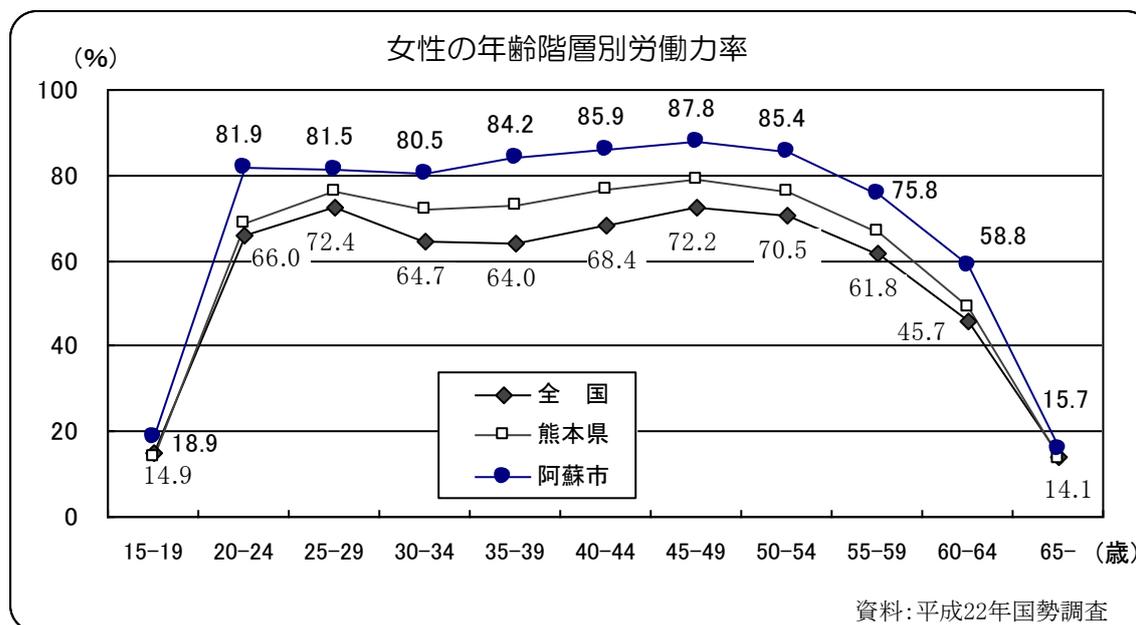


## 2. 就労環境

### (1) 女性の年齢階層別労働力率

女性の労働力率を年齢階層別にみると、いわゆる「M字カーブ」を描いていることがわかります。20代後半からの労働力率の低下は、出産や育児による就労率の減少を、30代後半からの増加は、再就職等による就労率の上昇を示していると考えられますが、本市の「M字カーブ」は国・県に比べると緩やかで、全世代を通して国・県より高い数値で推移しています。これは、夫婦共働きの割合や出産後も仕事を続ける女性の割合が国・県に比べると高いことを示しています。

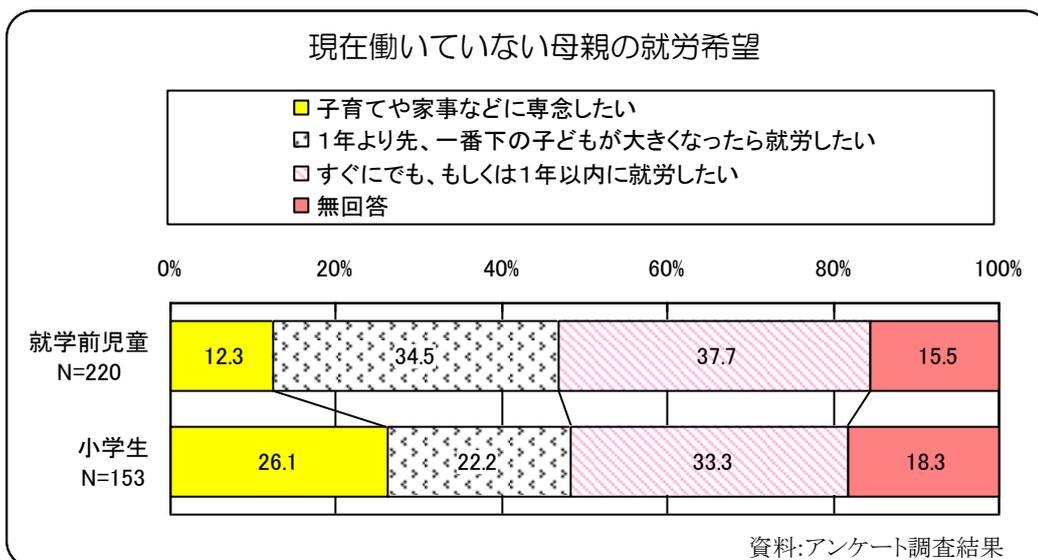
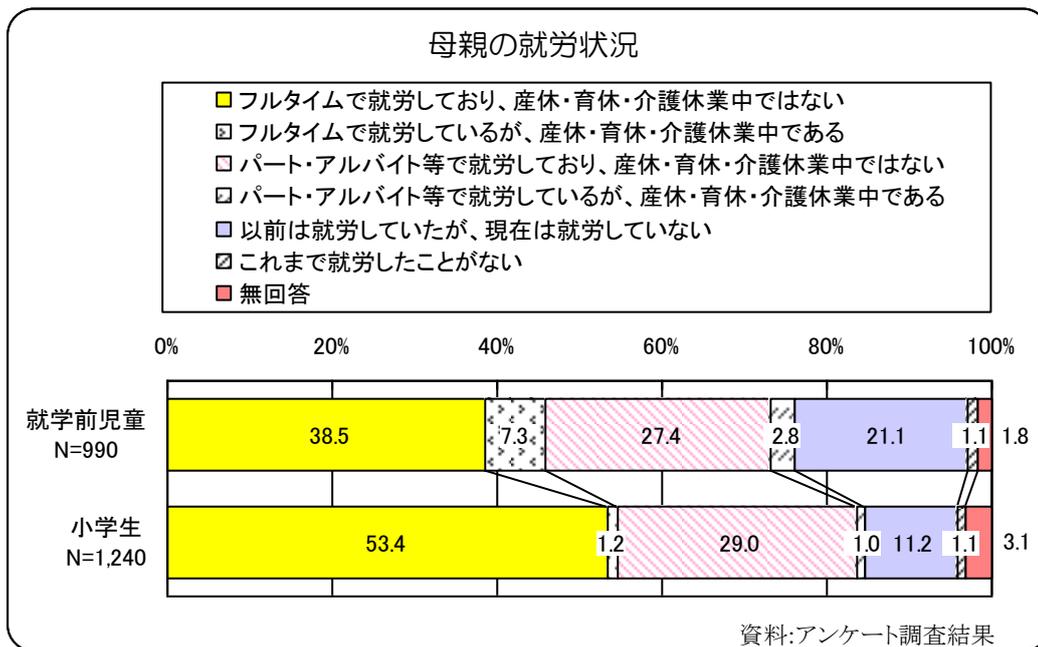
しかし、国・県に比べ緩やかとはいえ、「M字カーブ」が示すように、働き続けたくてもそれを可能にする社会環境が十分に整備されていないために、一旦仕事を離れざるを得ない女性もいます。働きたい女性が家庭生活と職業生活を両立し、結婚、出産、育児期にも継続して働くことができる社会環境への整備を図る必要があります。



(2) 母親の就労状況

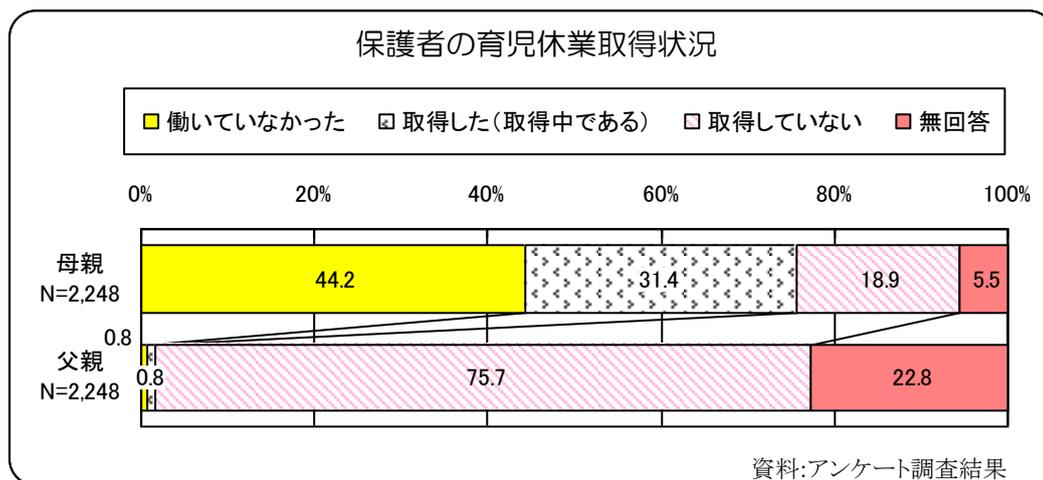
アンケート調査の結果から母親の就労状況をみると、就学前児童の母親で76.0%、小学生の母親で84.6%の人が働いており、夫婦共働きの世帯が一般化していることがわかります。

また、現在就労していない母親についても、就学前児童の母親で37.7%、小学校児童の母親で33.3%の人が「すぐにでも、若しくは1年以内に」就労したいと考えていることがわかります。



(3) 育児休業制度の利用状況

アンケート調査の結果から、保護者の育児休業の取得状況をみると、「取得した（取得中である）」と回答した人は、母親で31.4%（無回答と働いていなかった人を除くと62.4%）、父親で0.8%（無回答と働いていなかった人を除くと1.0%）となっており、父親の取得は極めて低調であることがわかります。



### 3. 子育て支援サービス等の現状

#### (1) 保育サービス

##### ① 認可保育所入所状況の推移（年齢別）

平成22年からの認可保育所の年齢別入所状況の推移は以下のとおりです。概ね年齢が高くなるにつれて入所率も高くなっていますが、最近では1・2歳児の入所率も高まる傾向にあります。

認可保育所入所状況の推移（年齢別）

区 分		平成22年	平成23年	平成24年	平成25年	平成26年
0歳児	児童総数(人)	197	196	210	195	203
	入所児童数(人)	36	42	34	36	47
	入所率(%)	18.3	21.4	16.2	18.5	23.2
1歳児	児童総数(人)	200	208	208	222	204
	入所児童数(人)	113	112	118	134	130
	入所率(%)	56.5	53.8	56.7	60.4	63.7
2歳児	児童総数(人)	219	211	194	210	224
	入所児童数(人)	147	145	142	148	168
	入所率(%)	67.1	68.7	73.2	70.5	75.0
3歳児	児童総数(人)	196	215	212	192	213
	入所児童数(人)	147	165	168	160	165
	入所率(%)	75.0	76.7	79.2	83.3	77.5
4歳児	児童総数(人)	212	196	219	209	186
	入所児童数(人)	169	153	169	167	159
	入所率(%)	79.7	78.1	77.2	79.9	85.5
5歳児 以上	児童総数(人)	229	210	201	218	207
	入所児童数(人)	175	167	160	171	171
	入所率(%)	76.4	79.5	79.6	78.4	82.6

※各年4月1日現在

資料：住民基本台帳、保育所入所児童数調

##### ② 認可保育所入所状況の推移（保育所別）

平成26年4月1日現在、市内には公立の認可保育所4施設、私立の認可保育所8施設の計12施設があり、総定員825人となっています。定員に対する入所率は保育所によってばらつきがありますが、近年、保育所定員に関する国の弾力運用を受け、定員を超えた受け入れを行っている保育所もあります。

保育所別の入所者数の推移は、次ページの表のとおりです。

認可保育所入所者数の推移（保育所別） (単位：人)

保育所名	区分	定員	平成22年	平成23年	平成24年	平成25年	平成26年
坂梨保育園	公	55	46	52	53	52	49
乙姫保育園	公	30	24	29	29	26	29
山田保育園	公	45	37	37	34	37	38
波野保育園	公	45	41	36	35	34	35
りんどう保育園	私	100	115	113	113	117	122
古城保育園	私	50	49	53	51	56	54
熊本YMCA 尾ヶ石保育園	私	40	39	37	38	41	43
熊本YMCA 赤水保育園	私	90	78	79	81	77	79
熊本YMCA 永草保育園	私	30	32	27	30	34	35
内牧保育園	私	130	130	127	121	117	122
熊本YMCA 黒川保育園	私	110	107	99	109	110	117
宮地保育園	私	100	86	92	91	109	114
管外保育所	公	—	3	3	2	3	2
管外保育所	私	—	0	0	4	3	1
計		825	787	784	791	816	840

※各年4月1日現在

資料：福祉行政報告例

※区分及び定員は平成26年4月1日現在

※内牧保育園、熊本YMCA黒川保育園、宮地保育園は、平成24年4月1日に民営化

### ③特別保育等の実施状況

本市では、多様な保育ニーズに対応するため、特別保育の充実にも努めてきました。

現在、延長保育及び障がい児保育は全施設、一時預かり（一時保育）は8施設での実施となっています。

特別保育の実施状況の推移 (単位：か所, 人)

区 分		平成22年度	平成23年度	平成24年度	平成25年度	平成26年度
延長保育	実施か所数	8	8	11	12	12
	利用児童数	138	126	255	335	350
障がい児保育	実施か所数	12	12	12	12	12
	利用児童数	2	3	5	12	12
一時預かり (一時保育)	実施か所数	7	7	8	8	8
	延利用児童	199	169	452	422	450

※実施か所数は各年度4月1日現在

資料：福祉課

(2) 幼稚園教育

① 幼稚園入園状況の推移（施設別）

幼児期における教育の重要性から、幼稚園教育に対する社会的要請は年々高まっていますが、一方で、近年の少子化と保育需要の増大により、園児数は定員を大きく下回った状態が続いています。平成26年5月1日現在の就園児数は102人で、対定員比37.1%となっています。

幼稚園入園状況の推移（施設別） (単位：人)

幼稚園名	定員	平成22年	平成23年	平成24年	平成25年	平成26年
あそひかり幼稚園	50	14	14	16	18	18
阿蘇中央幼稚園	225	120	111	114	98	84
計	275	134	125	130	116	102

※各年5月1日現在

資料：教育課

※定員は平成26年4月1日現在

② 幼稚園入園状況の推移（年齢別）

平成22年からの幼稚園の年齢別就園児数の推移は以下のとおりです。

幼稚園入園状況の推移（年齢別）

区 分		平成22年	平成23年	平成24年	平成25年	平成26年
入園児童数（人）	3歳児	40	41	40	28	40
	4歳児	42	44	47	40	24
	5歳児	52	40	43	48	38
	計	134	125	130	116	102

※各年5月1日現在

資料：教育課

**(3) 放課後児童健全育成事業（放課後児童クラブ）**

両親が共働きなどの留守家庭の子どもたちの放課後等における健全育成を目的とする放課後児童クラブについては、学校・家庭・地域の協力の下に、条件の整ったところから順次設置しており、最近の利用者数の推移は以下のとおりです。

平成26年5月1日現在、5つの放課後児童クラブが設置されており、利用児童数は計208人となっています。

施設名	平成22年	平成23年	平成24年	平成25年	平成26年
どろんこクラブ	66	61	58	64	64
まどか学童クラブ	34	28	25	22	21
へきすい元気っ子クラブ	31	40	39	42	38
阿蘇西アイガモ学童クラブ	17	18	23	29	34
うちのまきスマイルキッズクラブ	38	41	50	43	51
計	186	188	195	200	208

※各年5月1日現在

資料：福祉課

**(4) 放課後子ども教室**

放課後子ども教室とは、放課後等小学校の余裕教室等を活用し、子どもたちの安全・安心な活動拠点を設け、地域の方々の参画を得て、学びやスポーツ・文化活動、地域住民との交流を通して、子どもたちが地域社会の中で心豊かで健やかに育まれる環境づくりを推進しようとするものです。

本市では、平成19年度に宮地小学校で開始して以来、現在7校で実施され、平成26年度の利用登録者数は251人となっています。また、近年では各校の教室間の連携が進みボランティア情報の共有化や取り組みの支援等により内容の充実が図られ、放課後子ども教室に参加する児童数は増加傾向にあります。

なお、現在、放課後子ども教室に参加する児童で放課後児童クラブへ通う児童が40人程おり、一部、放課後子ども教室終了後の放課後児童クラブへの児童引継ぎ等連携が図られています。

**(5) 地域子育て支援拠点事業**

地域子育て支援拠点事業とは、子育て中の親子に対する交流の場を設けて、子育てについての相談、情報の提供、その他必要な支援を行う事業です。本市では、市内3か所に子育て支援センターを設置し、就学前児童とその保護者を対象に、ぴよぴよ広場（阿蘇市子育て支援センター）、すくすく広場（一の宮子育て支援センター）、のんびり広場（波野保育園）を開いています。

(6) 母子保健事業

① 妊娠届の状況

妊娠届け時に母子健康手帳と妊婦健康診査受診券を交付し、妊娠中の健康管理や異常の早期発見のために定期的な妊婦健診の受診を勧奨しています。また、妊婦の状況を把握するためにアンケートに記入していただき、必要な支援が早期から行えるようにしています。

妊娠届け出の週数は、少しずつ早くなっており、平成25年度の妊娠満11週未満での届出率は92.3%となっています。

妊娠満11週未満の届出率の推移 (単位：人)

区分	平成21年度	平成22年度	平成23年度	平成24年度	平成25年度
阿蘇市	86.1	86.9	93.2	90.0	92.3

資料：ほけん課

② 低出生体重児の出生割合の推移

多胎妊娠等の増加などにより、低出生体重児の出生割合は平成20年までは増加傾向にありましたが、平成22年以降は減少傾向にあります。

低出生体重児数の推移 (単位：人)

区分	平成21年	平成22年	平成23年	平成24年	平成25年
阿蘇市	12.5	12.7	7.8	6.4	5.7

資料：ほけん課

③ 乳幼児健康診査の実施状況

乳幼児の心身の発育、発達チェックを行い異常を早期に発見することと、乳幼児の健康の保持増進、母親への育児支援を目的に乳幼児健診を実施しています。未受診者については、保育園等で状況を把握しています。

乳幼児健診の受診率の推移は以下のとおりです。

乳幼児健診の受診率の推移 (単位：%)

区分	平成21年度	平成22年度	平成23年度	平成24年度	平成25年度
3か月児健診	98.6	97.9	100.0	100.0	99.5
7か月児健診	99.0	99.5	98.1	99.5	98.5
1歳6か月児健診	99.6	99.5	99.5	98.0	98.5
3歳児健診	98.5	99.4	99.1	99.0	99.5

資料：ほけん課

## ④ 幼児歯科健診の実施状況

1歳6か月児、3歳児健診におけるむし歯保有率と一人当たりのむし歯本数の推移は下表のとおりで、1歳6か月から3歳になるまでの間に、むし歯保有率がかなり上昇しています。

幼児歯科健診結果の推移

区 分		平成21年度	平成22年度	平成23年度	平成24年度	平成25年度	
1歳6か月児健診	むし歯保有率 (%)	阿蘇市	4.44	5.10	4.95	5.47	2.40
		熊本県	4.17	3.76	3.42	2.99	2.89
	一人当たりのむし歯の本数 (本)	阿蘇市	0.11	0.20	0.14	0.18	0.06
		熊本県	0.13	0.11	0.09	0.10	0.09
3歳児健診	むし歯保有率 (%)	阿蘇市	40.30	39.20	40.50	36.00	30.50
		熊本県	29.49	27.44	27.39	27.62	26.14
	一人当たりのむし歯の本数 (本)	阿蘇市	1.95	1.88	2.00	1.94	1.22
		熊本県	1.19	1.12	1.07	1.08	0.97

資料：ほけん課